【山梨県】

～　手話を通してみんなを笑顔に　～

身延山学園 身延山高等学校
手話コミュニケーション部

高校生ボランティア・アワード
2023

「手話の普及」
「聴覚障がい者の理解」

主な活動概要

（1）地域の小・中学校での
手話教室開催
（2）障害者サッカー大会への参加
（3）高校生ボランティアアワード出場
（4）地域のイベントでの手話発表
（5）山梨県高等学校芸術文化祭
グラウンドステージでの手話発表

小学校での手話発表

耳 の 日 まつり

ボランティア・アワード

「誰もが手話で『ありがとう』の できる世界を目指して♪」

「手話は難しい」と思われている現状を変え、「手話は楽しい」と思ってもらえるように私たちは日々活動しています。山梨県内の小・中学校で手話教室を開催し、1つでも多くの手話を楽しく学べ、手話の魅力に触れてほしいと思っています。

手話ができることでろう者の方はすごく喜んでくれます。実際にろう者の方とコミュニケーションを通して、私はとても元気づけられました。少しでも多くの方々に手話の楽しさに気づいて頂けるよう頑張って活動していきます。

手話部部長　白川 拓実

中学校での手話教室

学園祭での手話発表

芸術文化祭での手話発表

地元テレビ局の取材

地域イベントでの手話発表

「手話を通じて人との縁、喜びは宝物」

手話教室後の感想

生徒

・テレビを見て、前は耳の聞こえない人はかわいそうだと思っていました。でも学校の校舎内には席の位置の工夫や階段の鏡にも工夫されていて、すごく良いなと思いました。また手話は障がい者と話すときだけ使うと思っていたけど、遠くから話したりするときも使えていたから面白かったです。

先生

手話について学べる良い機会となりました。生徒たちも手話を楽しそうに学んでいて、とても良い時間となりました。

手話と出会って成長できたこと

☆手話部では最初は「手話は難しい」と思っていましたが、先生や先輩がわかりやすく教えてくれたり、手話歌を通して手話を楽しく学ぶことができたりしたことで「手話は難しい」という気持ちはなくなりました。まだ入部したばかりで手話は未熟ですが、積極的に学んでいきたいです。

（1年・市川琉巳）

☆私は手話部に入る前は人前に出ることがすごく苦手でした。手話部に入ると自然と人前に出る機会が増え、たくさんの人達と接する機会も増えました。その中でろう者の方々と手話を使って話すと、とても喜んで下さり、手話教室に行くと小中学生はとても楽しみながら手話を覚えてくれます。この経験のおかげで、人前に出ることに少し慣れました。人前に出るときはいつもこのことを思い出しています。これからも手話の魅力を伝えるために頑張っていきたいです。

（3年・塩澤杏朱）

今年度、私たちは以下の目標を達成します！！

1、今年の目標
（1）手話検定全員合格！！
（2）卒業中学校での手話パフォーマンス＆手話教室を実現させる！
（3）ろう者とのコミュニケーションを増やす！！
（4）災害時にろう者の手助けするために何ができるかを学ぶ！！
（5）ろう学校との交流を増やす！！

2、新たな企画として
（1）*SNS*を使って身延山や高校、手話部の活動を広める！
（2）ろう者と聴者をつなぐデフサッカー教室の開催！

新日本語、手話辞典

手話が分からなくて困ったときの心強いサポート

多くの激励の言葉

私たちが前を向いて頑張れる源！

Ontenna(オンテナ)・補聴器

ろう者を理解するために体験学習

手話部　活動プロフィール

平成15年設立。現在、男子3名、女子6名で活動。私たちのモットーは、「みんなで楽しく手話を学び、みんなに楽しく学んでもらう」です！手話をたくさん覚えるのは大変だけど、小・中学生が楽しそうに手話をしているのを見て、喜びや勇気をもらっています。これからもさまざまな活動を積極的に行い、継続させていきます。